

管内概要



当管内は登米市全域を所管しています。登米市は、宮城県の北東部に位置し総面積は536km²余りで県土の約7.4％を占めています。東部に北上山系が連なり、西から南東に迫川が流れ、北上川に合流しています。これら2河川の流域に沿って広大な登米耕地が広がり、県内有数の農業地帯となっています。

気候は、内陸性気候で令和5年の年間平均気温は、13.5℃年平均降水量は1022.0mm、冬季は降水量が少なく、東北地方にあつては、住み良い気象条件にあります。

交通網は、JR東北本線が北西部の迫町と石越町を、JR気仙沼線が南部の豊里町と津山町を走っています。また、道路網は、三陸縦貫自動車道や宮城県北高速幹線道、一般道路の国道45号、342号、346号、398号及び456号を中心として、主要地方道8路線及び一般県道15路線で形成されています。

【宮城県HP登米地域の概要及び気象庁「気象統計情報」より一部抜粋】

市町村名	面積(ha)				人口(人)				
	総面積	うち農地面積(上段:ha、下段:%)			人口 (人)	世帯数 (世帯)	産業別就業人口(上段:人、下段:%)		
		田畑計	田	畑			第1次産業	第2次産業	第3次産業
登米市	53,609	18,777 (35.0)	16,420	2,357	74,228	27,180	4,962 (13.4)	11,025 (29.7)	21,111 (56.9)

【登米市統計書(令和5年度版)及び総務省「令和2年国勢調査」より】

管内農業の概要

令和4年度の登米市の農業産出額は299.1億円で県内1位となっています。内訳は米107.0億円、畜産155.9億円、園芸(いも類含む)32.3億円となっており、米と畜産が全体の88％を占めています。

令和6年産水稻については、作付面積10,300ha、10a当たり収量610kgでいずれも県内1位となっています。

農業産出額の約52％を占める畜産については、担い手の高齢化や後継者不足により飼養戸数が減少する一方、意欲的に規模拡大や新技術の導入等が行われています。

施設野菜としては夏秋・冬春きゅうりが国の産地指定を受けており、生産量、販売額ともに県内1位の産地となっています。近年では実需と結びついた加工用馬鈴薯の生産が拡大しています。

市町村名	登米市農業産出額(令和4年度) (上段:億円、下段:%)				
	全体	米	畜産	園芸	その他
登米市	299.1	107.0 (35.8)	155.9 (52.1)	32.3 (10.8)	3.9 (1.3)

【市町村別農業産出額(推計)より】

管内の農地整備状況

市町村名	令和5年度の水田整備状況					令和5年度の農地集積状況		
	水田面積 (ha)	整備済水田 面積(ha)	整備率 (%)	うち大区画		農用地面積 (ha)	集積面積 (ha)	集積率 (%)
				整備済水田 面積(ha)	整備率 (%)			
登米市	16,400	13,886	85 (県平均 73%)	5,528	34 (県平均 33%)	2,605	1,848	71 (県平均71%)

●水田整備状況 【宮城県水田整備状況(令和5年度実績)】 ※「整備済水田」:20a区画以上に整備された水田、「うち大区画」:50a区画以上に整備された水田
※水田面積は平成22年データ(震災前)使用
●農地集積状況 【令和5年度 農業経営高度化支援事業実施状況(確定値)】